

# 鳥海ダムだより

国土交通省東北地方整備局鳥海ダム調査事務所

2010.11  
第20号



## 鳥海ダムに思うこと

由利本荘市

鳥海総合支所長 土田 修

霊峰鳥海山(2,236m)を源とする全長61kmの子吉川は、由利本荘市一市のみを流れる一級河川としては全国でも珍しい川です。

子吉川は急流のため、一旦雨が降れば洪水となって下流に向かって行き、たびたび水害を発生させ住民を苦しめてきました。しかしながら、飲料水や農業用水など大切な水を選んでくれることから、流域の皆さんからは、「母なる川・子吉川」として大変親しまれています。

春になると鳥海山の雪解け水が、日本海へと大量に流れ込んでいくわけですが、この鳥海山からの恵みの水を漠然と捨てるのではなく貯水することによって、夏の水枯れを防ぐと共に安定した水量を保ち一定の水を放流することが、鳥海ダムの役目と考えています。そうすることによって生じる、飲料水や農業用水の確保をはじめ工業用水の安定供給は、末代までも補償される事業となることが、地域住民の悲願でもあります。

しかしながら世の中は「コンクリートから人」へと変化し、ダムそのものを否定しかねない事態となっていることは憂慮すべきと考えています。地域に住む住民が必要とする鳥海ダムは、由利本荘市民にとって悲願の大型プロジェクトであり、どうしても成し遂げていただきたい事業であります。

昭和45年に、秋田県が百宅集落にダム建設の調査を実施して以来40年という長い年月の間、水没予定地区の百宅集落の住民に与えた苦悩は大きく、その後の生活設計さえもままならなかったことを想像するに、一日も早い鳥海ダム工事事務所への格上げを望まずにはられません。

「鳥海ダムの建設を促進する市民の会」が昨年に集めた51,162名(21年度末現在)の署名の重さを認識し、鳥海ダム建設に向けて由利本荘市民一丸となって歩いて行くことを望んでおります。

## 鳥海ダムの「検証」が始まりました

国土交通省では、「できるだけダムにたよらない治水」への政策転換を行うとの考えに基づいて、昨年12月に設置された「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」で議論を進めてきましたが、その「中間とりまとめ」が9月27日に公表されました。

これを受けて、国土交通大臣から東北地方整備局長に鳥海ダム事業の検証に係る検討を進めるように指示がなされ、「第1回鳥海ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」（以下、「**検討の場**」）を平成22年11月17日に開催しました。

ここでは、今後の進め方や第1回の概要を紹介します。

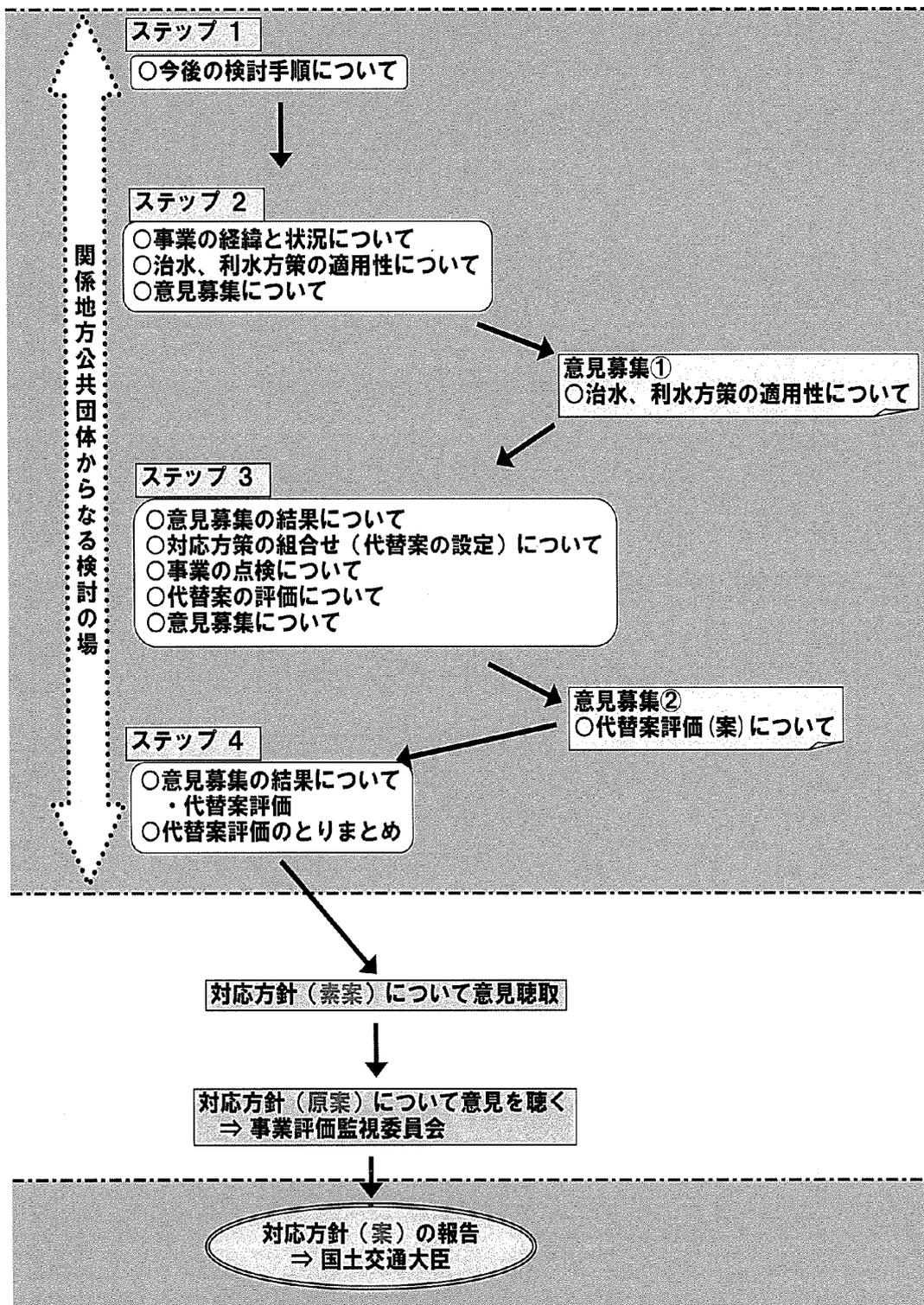
- ◆鳥海ダムの検証に係る検討は、東北地方整備局が「**検証主体**」となります。
- ◆「**検討の場**」を設置しました。  
鳥海ダムに関係する検討の場の地方公共団体の構成メンバーは、秋田県知事と由利本荘市長です。
- ◆「**検討の場**」では、治水・利水の目的別に、平成18年に策定された子吉川の河川整備計画と同じ目標を達成することを基本として、鳥海ダムを含む現在の河川整備の案とダムを含まない複数の対策案を考えて総合的に評価します。評価は、対策の効果、コスト、実現性、持続性、柔軟性、地域社会への影響、環境への影響などを比較することになります。
- ◆「**検討の場**」は、原則公開で開催するとともに、代替案の立案にあたっての提案や評価についての意見を聴きながら、検討・議論を進めていくこととなります。
- ◆「**検証主体**」（東北地方整備局）が**対応方針(案)**をとりまとめて、本省へ報告し、国土交通省が最終的に決定することになります。
- ◆第1回「**検討の場**」では、事務局から検証に至ったこれまでの経緯と「検討手順の概要(案)」の説明を行いました。秋田県知事(代理：副知事)と由利本荘市長からは、「水害や渇水の被害状況」「産業面の利水の確保」「市民や地元の意見」などの面から、早期建設を望むとの意見の他、今後の進め方にあたって「地元の声を丁寧に聞き取り、迅速な検討をお願いしたい」との意見を頂きました。
- ◆参考として、第1回「鳥海ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」で示された検討手順の概要は、次のページのとおりです。

※「**検討の場**」の配付資料や議事内容については、鳥海ダム調査事務所のホームページをご覧ください。  
(アドレス<http://www.thr.mlit.go.jp/chokai/>)

また、今後の開催日時については、決まり次第随時記者発表やホームページ等でお知らせします。



「鳥海ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」  
検討手順の概要（案）



※ 上記の検討手順（案）は現時点の案であり、今後の議論等により変わる可能性がある。  
 ※ 検討の場の実施時期、実施回数は未定。

## 出前講座のお知らせ

市民の皆様に鳥海ダムの目的や効果、また鳥海ダムをとりまく最近の状況等を知っていただくため、鳥海ダムの出前講座を行っております。出前講座では、各種団体などのご希望に応じて調査事務所職員が皆様の会合等に出向きご説明させていただきます。

今後も皆様のご意見ご質問には、出来るだけ判り易くお答えし、ご要望に応えられるよう努めて参りますので、各種会合の前後など皆様の御都合にあわせた申込みをお待ちしております。

皆様の会合にこちらからお伺いします。  
お申し込みをお待ちしております。

受付窓口

0184-23-5120

補償調整課 杉井 米川



## 転入者紹介について



所属 補償調整課 期間業務職員

氏名 木村 美里

早く仕事に慣れ、少しでも地元のお役に立てる様に頑張りますので、よろしくお願いします。

編集後記

いつの間にか、吐く息も白くなり、暖かい鍋が恋しい季節となりました。皆様はいかががお過ごしでしょうか。

今号では、鳥海ダム「検討の場」を主に鳥海ダム検証に関して情報提供をさせて頂きました。今後も充実した「手作り広報誌」を目指しますのでよろしくお願いします。

安全・安心の子吉川に抱かれて、より豊かに暮らせる、わたしたちの郷土のために。

編集・発行

国土交通省東北地方整備局鳥海ダム調査事務所

〒015-0074 秋田県由利本荘市桜小路3-2-1

TEL. 0184-23-5120 FAX. 0184-23-5451

ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/choka>

e-mailアドレス [chokai@thr.mlit.go.jp](mailto:chokai@thr.mlit.go.jp)



(ISO14001)